

YASKAWA

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機 第99期事業ご報告

2014年3月21日 ▶ 2015年3月20日

(証券コード：6506)

100TH
ANNIVERSARY
SINCE 1915



Contents

株主のみなさまへ	1
事業案内	4
セグメント別の概況	5
トピックス	10
業績の推移	12
株式の状況	13
会社の概要	14

グローバル経済の中で 持続的に成長し続ける当社グループを 構築してまいります。

当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、海外については、中国以外の新興国において景気に勢いを欠きましたが、米国では堅調な成長が見られ、中国も市場別に濃淡はあるものの、スマートフォンや自動車関連の生産拡大等に支えられ、全体としては安定成長が継続いたしました。

国内については、輸出環境の改善などを背景とした企業収益の向上により設備投資が緩やかに増加基調となるなど、回復傾向で推移いたしました。



■ 決算の概要

当社グループは、事業内容を「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の3つのセグメントにわけています。主力のモーションコントロール、ロボットを中心に売上高・営業利益が増加したことや、前期より為替が円安で推移したこともあり、売上高4,001億53百万円（前期比10.1%増）、営業利益315億32百万円（同22.7%増）、経常利益338億84百万円（同25.1%増）、当期純利益248億19百万円（同46.3%増）となりました。期末配当につきましては、安定的かつ継続的な配当とあわせて、当期の業績および財務状況ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案のうえ、1株につき普通配当

10円に、当社創立100周年記念配当2円を加えた12円とし、年間にお支払いする配当金は、中間配当金8円と合わせて1株につき20円とさせていただきます。

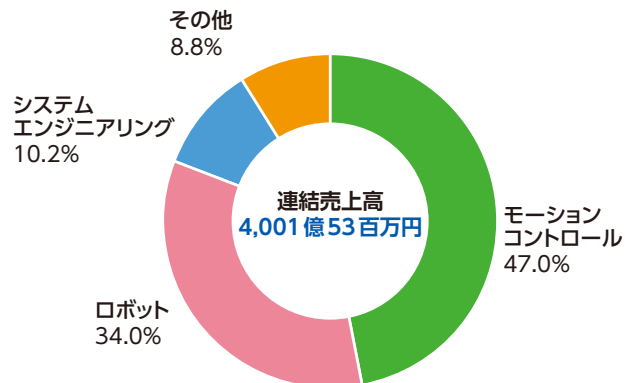
● 売上高（連結）



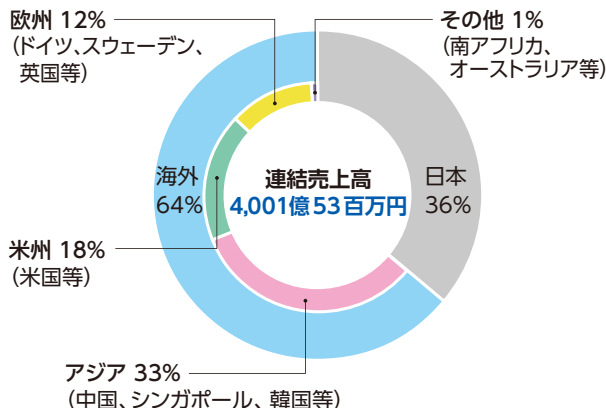
● 営業利益（連結）



● 連結売上高のセグメント別内訳 (2014年度)



● 連結売上高の地域別内訳 (2014年度)



■2015年度の見通し

2015年度は、海外では、米国経済は着実な回復が続くと見込まれております。欧州経済は持ち直しに向かうことが期待されておりますが、政府債務問題への対応やその影響などに留意する必要があります。中国経済も安定成長が予想されますが、その度合いは市場により強弱があることに留意する必要があります。国内経済は、緩やかな回復基調が続くものと考えております。このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Realize100」の最終年度を迎えるにあたり、計画完遂のため、以下の3つの方針にそった施策を実行してまいります。

① 既存事業の収益拡大

- 販売網や拠点の拡大、組織の整備など販売体制を再構築することで、新しい領域や伸張する市場での拡販を加速します。
- 新製品の確実な市場浸透により、新規顧客を開拓します。

② 開発力・生産力・販売力の継続的進化による事業遂行力の向上

- 新規市場へ投入する製品の開発とそれに同期した最適生産体制の構築を進めます。
- 生産から販売までの連携プロセスの革新、最適な部品供給体制の構築により、グローバル生産体制を強化します。
- 生産技術の開発・標準化、新機能の開発により、生産規模に合ったフレキシブルな生産システムを実現します。
- グループ開発力を強化、ニーズに合った生産の最適化とそれに対応した製品の品揃えにより、事業拡大を進めます。
- グローバルでのバックオフィス機能拡充により、地域に合った販売戦略を展開します。

③ 企業基盤の確立加速

- 環境・エネルギー事業のグローバル展開およびヒューマンアシスト事業の立ち上げを加速するとともに次の新規事業を探索します。
- 人材多様性の推進や業務標準化により、働きやすさを提供するとともに働きがいを作り上げ、ワーク・ライフ・バランスを実現する組織風土改革を進めます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月
代表取締役会長兼社長



確かな技術と多くの信頼に支えられて創立100周年

当社は1915年の設立以来、「事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献する」という経営理念に基づき、常に時代の主力産業を支え続けてきました。現在は、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の基幹事業を軸に、世界最高水準の技術力とノウハウを駆使し、産業と社会の発展に貢献しています。

高性能・高生産性の機械システムを構築する

モーションコントロール ▶P.5



No.1 ACサーボドライブ世界シェアNo.1
累計出荷台数*1,000万台突破(2012年3月) *:ACサーボモータ

No.1 インバータ世界シェアNo.1
累計出荷台数2,000万台突破(2014年2月)

生産現場の自動化に貢献する

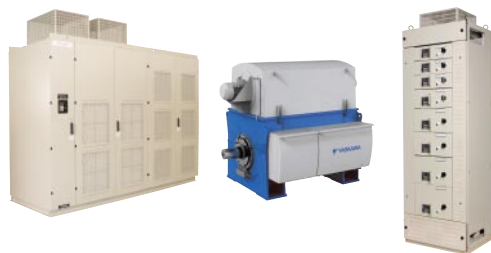
ロボット ▶P.7



No.1 産業用ロボット世界シェアNo.1
累計出荷台数30万台突破(2014年9月)

豊かな暮らしと社会を支える

システムエンジニアリング ▶P.9



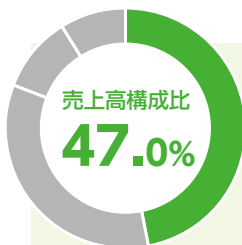
その他 ▶P.9

情報関係事業、物流サービス等

モーションコントロール

世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業

当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる生産機器に組み込まれています。インバータはエアコン、洗濯機、エスカレータなどに利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネにも大きく貢献しています。また、再生可能エネルギーの使用を促進する太陽光発電用パワーコンディショナにも取り組んでいます。



事業の業績

ACサーボモータ・コントローラは、スマートフォンや自動車関連を中心に、国内および海外全般における販売が好調に推移いたしました。特に中国では、安川電機(瀋陽)有限公司の増産効果もあり、収益が大幅に伸長いたしました。インバータは、太陽光発電用パワーコンディショナが大手電力会社による再生可能エネルギー発電設備に対する接続申込みの回答保留の影響もあり、好調だった前期に比べ低調に推移いたしました。汎用インバータが堅調に推移したことにより、全体としても堅調で推移いたしました。これらの結果、前期比で、売上高、営業利益ともに増加いたしました。

売上高

1,881億16百万円

前期比 **15.9%**増



営業損益

217億48百万円

前期比 **32.3%**増



主要製品

- ACサーボモータ
- 工作機械用AC主軸モータ
- リニアモータ
- 各種モータ制御装置
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 汎用インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- 電源回生コンバータ
- マトリクスコンバータ

新製品

ACサーボドライブΣ-7シリーズのラインアップを更に拡充

Σ-7シリーズ 指令オプション取付け形 (SGD7S-□□AE0A)

ご好評をいただいている Σ-7 シリーズに、指令オプション取付け形をラインアップいたしました。用途に合わせ、INDEXER、DeviceNet双方のオプションモジュールと組み合わせることができます。Σ-7シリーズが持つ高性能・高機能により、お客さまの装置の性能向上に貢献します。



INDEXERオプションモジュール



INDEXERモジュール
(SGDV-OCA03A)



主な用途

- PTP制御*1が必要な一軸の位置決め用途

*1:ある地点から別の地点までの移動(Point to Point)動作。

DeviceNetオプションモジュール



DeviceNetモジュール
(SGDV-OCA0□A)



主な用途

- DeviceNet*2を使用する様々なシステム

*2:ODVA (Open DeviceNet Vendor Association) の登録商標。

新製品

世界初のGaNパワー半導体モジュール採用でクラス世界最小を実現

太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOL V1シリーズ

GaN(窒化ガリウム)パワー半導体モジュールを搭載した、世界初の屋内住宅用パワーコンディショナ(200V単相4.5kW)をラインアップいたしました。従来モデル設置面積の約1/2となるクラス世界最小サイズを実現し、設置場所の自由度が大幅に向上しています。また、低出力時でも発電効率が高いため1日の発電量を最大化できるほか、耳障りな高周波音(モスキート音)を抑制しました。



主な用途

- 太陽光発電施設
(屋内住宅用)



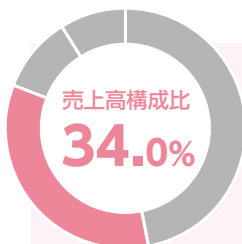
(注) 左のマークは
株式会社 安川電機の登録商標です。



ロボット

新たな挑戦を続け進化するロボット

当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。ロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客さまの要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。



事業の業績

溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、国内外の自動車関連分野を中心に堅調に推移いたしました。特に中国を中心とした市場の拡大を確実に捉えるなど、海外での販売が大きく拡大いたしました。さらに、自動車以外の新市場への拡販に向けてロボットセンタを新設するなど、受注活動の拡大に努めております。また、ロボットの新たな用途創出を目指し、バイオメディカル分野など新しい領域における本格的な事業化への取り組みを加速させています。この結果、前期比で、売上高、営業利益とも増加いたしました。

売上高

1,359億56百万円前期比 **10.9%**増

営業損益

105億58百万円前期比 **11.0%**増

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- シーリング・切断ロボット
- バリ取り・研磨ロボット
- 半導体・液晶製造装置用クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム

新製品

手首軸を格段に強化、大形自動車部品・住宅材等へ幅広く対応

新形ハンドリングロボット MOTOMAN-MH400 II

自動車用大形部品および治具の搬送は、ワークが長く把持箇所も限られるため、実際の質量以上の強い力がロボットアームにかかります。また、近年は住宅パネルや家具材料といった広面積で重いワークの搬送においても、ロボットによる自動化のニーズが高まっています。MOTOMAN-MH400 IIは可搬質量を400kgに増強し、大形ワークの搬送に重要な手首軸の耐荷重を大幅に強化することで、従来このクラスではカバーできなかったハンドリングを可能にします。

主な用途

- 大形自動車部品、住宅材、建機部品等を主としたハンドリング



新製品

可搬質量100kgとスリムな構造で袋物のパレタイズに最適

新形パレタイジングロボット MOTOMAN-MPL100 II

MOTOMAN-MPL100 IIはスリムな構造を持ち、袋詰め充填機等の生産機械やコンベヤに囲まれたスペース、天井高制限のあるスペースに設置することができます。また、ロボット本体を積荷に近い位置へ設置することでパレットエリアの縮小も可能です。各国の主流パレットサイズに対応可能な広い動作範囲と高い搬送能力により、袋物をはじめとする様々な形態の積荷と生産性向上に貢献します。

主な用途

- 肥料・飼料・粉体等の袋包装物のパレタイズ
- 袋詰め充填機の払い出し工程 等



システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

当セグメントの主な市場は、安定稼働が必須となる大型プラント設備や大型クレーン設備です。計画段階からプロジェクトに参画し、技術提案からアフターサービスまでサポートを行います。鉄鋼業界では、国内で稼働する全ての高炉に当社の制御装置が採用されており、信頼性の高いシステム提供を行っています。



事業の業績

鉄鋼プラント用電気システムは瑞境期にあったことにより低調に推移いたしました。新市場の開拓に注力しております。

売上高

409億80百万円前期比 **16.0%増**

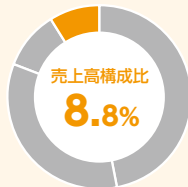
営業損益

△7億68百万円

主要製品

- 鉄鋼プラント用電気システム
- 小水力発電用発電機
- 上下水道用電気システム
- 車載用モータ
- 各種産業用電気システム
- 電力用配電機器
- 高圧インバータ
- 風力発電システム
- 高圧マトリクスコンバータ
- 太陽光発電システム
- 産業用モータ・発電機
- エネルギー関連システム
- 風力発電用コンバータ・発電機

その他



事業の業績

当セグメントには、情報関連事業および物流サービス等の事業が含まれております。

売上高

351億1百万円前期比 **19.0%減**

営業損益

12億77百万円前期比 **14.9%増**

主要製品

- 情報関連製品
- 情報処理ソフトおよび付帯サービス
- OA機器
- 物流サービスほか



創立100周年を機にコーポレートロゴを刷新

新コーポレートロゴ

YASKAWA

和文正式社名ロゴ

株式会社 安川電機

新コーポレートロゴ コンセプト

YASKAWAの信頼感、安定感を表現するシンプルなかでも視認性と可読性の高さを実現する大文字を使ったワードマークです。しなやかな曲線は、人間らしさをイメージさせ、お客様に寄り添い、様々な課題に応じていくYASKAWAの従業員の柔軟性や創造性を表現しています。また、全体的にたおやかに上方へ伸びゆく曲線で、世界へとビジネスを拡大させていくYASKAWAの意志や将来性を想起させています。

安川電機は1915年の創立から今年で100周年を迎えました。この節目にあたり、真のグローバル企業への進化と更なる成長を目指すべく、当社グループ共通のロゴを刷新しました。新しいロゴとともにあらゆる企業活動をグローバルに展開し、今後の100年へ向けた新たな企業ブランドを構築してまいります。

MOTOMANの出荷台数が累積で30万台を突破

1977年に最初の産業用ロボットを出荷して37年目となる2014年9月、出荷台数が累積で30万台を突破しました。

当社のロボットは、アーク溶接に始まりスポット溶接・搬送・塗装・半導体製造など様々な用途で生産現場の自動化・効率化に貢献してきました。最近では、バイオメディカルという新しい分野にも進出しています。今後も

世界一の卓越したロボット技術で、グローバルに産業の発展、人々の生活の質向上に貢献してまいります。



出荷式典における、テープカットの様様



30万台目の出荷式の様子



累積出荷30万台目のロボット
MOTOMAN-MA1440

インドネシア・ロボットセンタの開設 ～成長市場におけるロボット事業の強化～

インドネシア共和国におけるロボット事業の強化を目的に、同国首都ジャカルタ市内にインドネシア・ロボットセンタを開設しました。

インドネシア・ロボットセンタ開設の狙い

(1) 伸長する市場における拡販強化

今後も中長期にわたり持続的な経済発展・市場の拡大が見込まれるASEAN地域において、自動化のニーズが高い市場のお客さまに各種ロボットソリューションのご提案・提供を行うほか、システムインテグレータさまへのサポート体制も強化いたします。

(2) ASEAN地域におけるサポート強化

お客さまにロボット操作教育、保守教育をご提供するとともに、実機を使ったデモやテストを通じてロボットへの理解を深めていただきます。

施設概要

(1)稼働開始：2014年10月13日

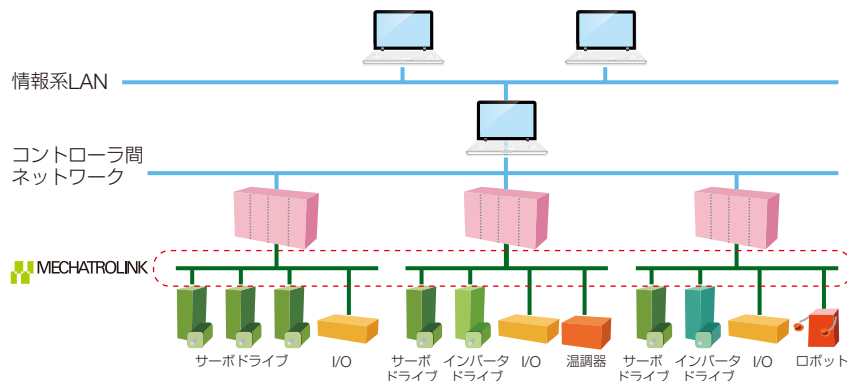
(2)所在地：インドネシア共和国ジャカルタ市内

(3)規模：延床面積 1,400平方メートル、2フロア



MECHATROLINKがIEC規格に採択

1995年に当社が開発したモーションフィールドネットワーク「MECHATROLINK」が、国際標準規格である「IEC61158」「IEC61784」の一つとして採択され、追加登録されました。

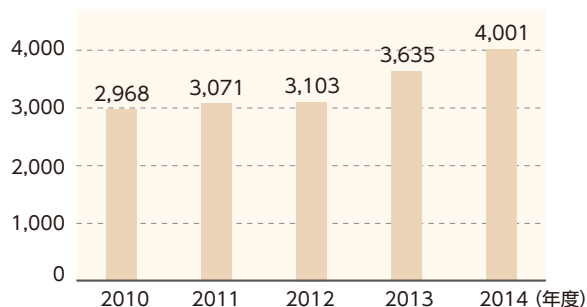


MECHATROLINKについて

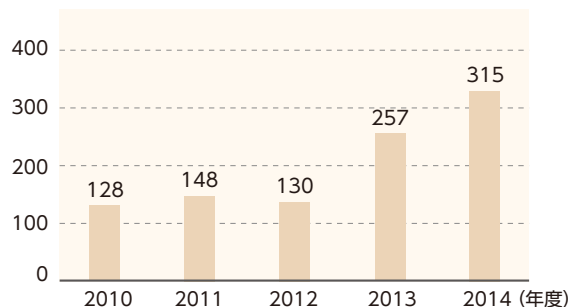
サーボドライブなどの装置とI/O系のネットワークを一つに統合できるモーションフィールドネットワークとして、半導体・ロボット・食品機械など多くの装置に採用されています。MECHATROLINKを普及・推進する目的で設立されたMECHATROLINK協会の会員数は年々増加しており、2,408社（2015年4月末時点）が会員となっております。

業績の推移

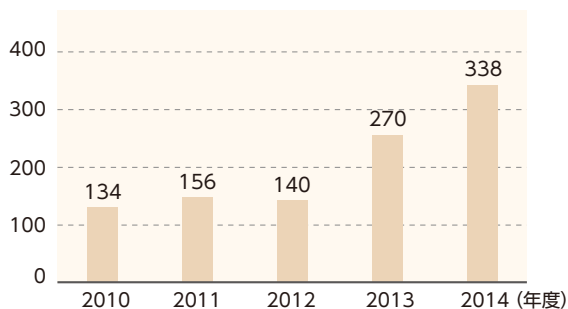
● 売上高 (連結) 単位: 億円



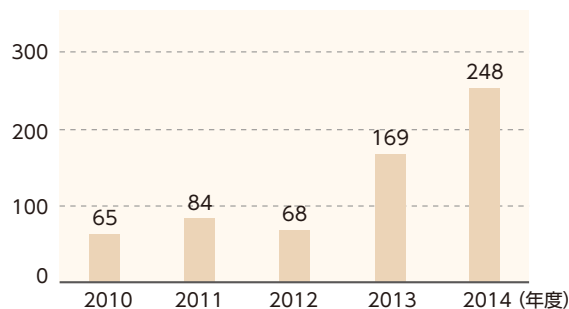
● 営業利益 (連結) 単位: 億円



● 経常利益 (連結) 単位: 億円



● 当期純利益 (連結) 単位: 億円



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

自2014年3月21日 至2015年3月20日			
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,023	現金及び現金同等物の増減額	1,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,874	現金及び現金同等物の期首残高	22,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,471	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,676	現金及び現金同等物の期末残高	24,347

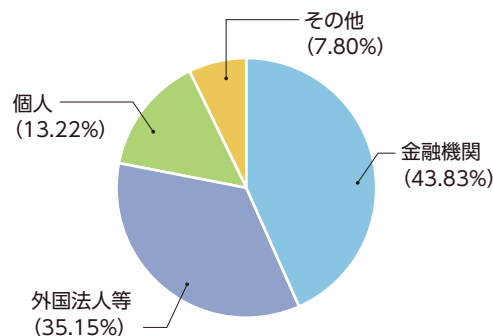
株式の状況 (2015年3月20日現在)

発行可能株式総数	560,000 千株
発行済株式の総数	260,967 千株
資本金	278億42百万円
株主数	25,846 名

● 配当金情報

第99期 (自2014年3月21日 至2015年3月20日) 配当について			
中間配当	1株につき	8円	
期末配当	1株につき	12円	
年間	1株につき	20円	

● 所有者別株式分布状況



2014年度 IR活動のトピックス

当社では、より多くの株主・投資家のみなさまに当社を知っていただくため、IR活動を積極的に展開しております。以下に、当期の活動の一部をご紹介します。

● 単元株式数を1,000株から100株に変更

2014年3月21日より、当社株式の流動性向上及び投資機会の拡大を目的として、普通株式の売買単位を1,000株から100株に引き下げております。これにより、投資家のみなさまにおいては、従来に比べて少ない金額で当社株式への投資を行うことが可能となっております。利便性の向上とともに、今後も株主・投資家のみなさまからの期待に応えるべく、企業価値の更なる向上を図ってまいります。

● 東証IRフェスタ2015に初出展(東京)

2015年3月13日、14日に、有楽町・東京国際フォーラムで開催された東証IRフェスタ2015に初出展いたしました。当社ブースには2日間で約1,000名の方が来訪され、多くの株主・投資家のみなさまに事業内容や業績などについてご説明いたしました。今後もこのような活動を通して、株主・投資家のみなさまとのコミュニケーションの機会創出に努めてまいります。

会社の概要

(2015年6月18日現在)

商号	株式会社安川電機	
英文社名	YASKAWA Electric Corporation	
創立	1915年7月16日	
従業員 (2015年3月20日現在)	11,356名(連結) 2,724名(単独)	
役員	取締役 (監査等委員である取締役を除く)	代表取締役会長兼社長 津田 純 嗣 代表取締役副社長 宇佐見 昇 代表取締役専務執行役員 小笠原 浩 取締役常務執行役員 村上 周二 取締役常務執行役員 南 善 勝 取締役執行役員 中山 裕 二
	監査等委員である取締役	取締役監査等委員(常勤) 小田 昌 彦 取締役監査等委員(常勤) 野田 幸之輔 社外取締役監査等委員 秋田 芳 樹 社外取締役監査等委員 辰巳 和 正 社外取締役監査等委員 田中 靖 人
	執行役員	常務執行役員 扇 博 幸 執行役員 高宮 浩 一 執行役員 善家 充 彦 執行役員 小川 昌 寛 執行役員 吉田 一 昭 執行役員 生山 武 史 執行役員 今福 正 教 執行役員 熊谷 彰 執行役員 Manfred Stern 執行役員 Michael Stephen Knappek
事業所	本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー 中部支店 〒470-0217 みよし市根浦町二丁目3番1号 大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル 九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神一丁目6番8号 天神ツインビル 工場等 八幡西事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会開催月 (配当金受領株主確定日)	6月 (毎年3月20日および9月20日)
公告方法	電子公告 (http://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■ 未払い配当金のお支払いは、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。
 ※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴う手続き等

証券会社に口座をお持ちの株主さま
 口座を開設されている証券会社にお問い合わせ
 ください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま
 (特別口座に登録されている株主さま)
 みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

■ 株式事務に関するお問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部



0120-288-324

Webサイトのご案内

<http://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解
 いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



YASKAWA
 株式会社 安川電機

見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています

UD
FONT